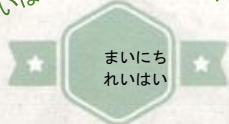
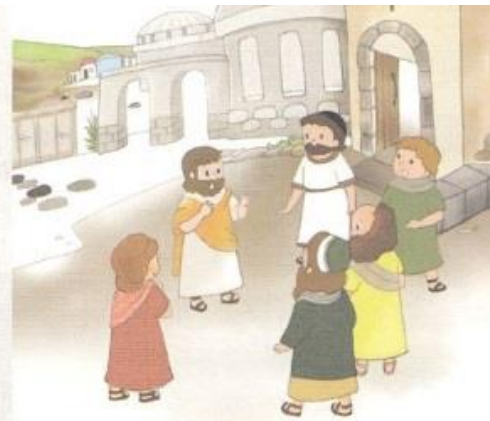


れいはいはさいこうのしゅくふ



わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

でんどううんどうを おこした コロサイ



いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび さんびか 473 ばん (こころにあるこのやすきを) わたしのおうさまイエスさま (2016 ねんこどもさんび)



せいしよ

ピレモン 1:5~7

ピレモン 1:5~7 それは、主イエスに対してあなたが抱いている信仰と、すべての聖徒に対するあなたの愛とについて聞いているからです。私たちの間でキリストのためになされているすべての良い行ないをよく知ることによって、あなたの信仰の交わりが生きて働くものとなりますように。私はあなたの愛から多くの喜びと慰めを受けました。それは、聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによって力づけられたからです。



みことば

でんどううんどうを おこした コロサイ

しかいしゃ

コロサイは、まわりの地域の貿易の通路でした。

いろいろな神々に仕える偶像都市でした。

律法に従う人がたくさんいたところです。

イエス・キリストを受け入れて、神の子どもになった信徒たちに、割礼を教える地域でした。

パウロは、コロサイにいるピレモンと、エパfrasと、アピヤ、アルキポなどといっしょにただイエスがキリストであることを伝える伝道運動をしました。

そうしてコロサイの信徒たちは、偶像と律法から解放される生活をすることができました。

イエス・キリストにあって、信仰の交わりをする平安を受けて生きたのです。



いのり

いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ ぜんせかいと わたしたちの かけいの すべての
ぐうぞうと りっぼうが くずれて、 ただしい ふくいんで しっかりと たつことが できる
ように たすけてください。

イエス・キリストの おなまえに よって おいのりします。 アーメン



しゅのいのり
フォーラム

いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
エックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どうよう

みことば あんしょう

あま〜い
133

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう



イエスは くるしみを うけたのち、
よんじゅうにちの あいだ、
かれらに あらわれて、
かみのくにのことを かたり、
かずおおくの たしかな
しょうこを もって、
ごじぶんが いきていることを
しとたちに しめされた。

しとのはたらき 1 しょう3せつの みことば

イエスさまが かみさまと わたしたちの あいだの ちゅうかいしゃと
なってくださいました。かみさまを はなれた わたしたちは もういちど
かみさまと ともにいる しあわせを とりもどすように なったのです。
わたしたちも イエスさまと おなじように あいで ひとつと
なりましょう。したの じを パパとママと いっしょに よんで
たいたい えを つぎの ページから さがして きって はりましょう。



じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ



はるところ

はるところ

はるところ

はるところ

はるところ

1

パウロは イエスさまが わたしたちの つみを
あがなって くださるために わたしたちの かわりに
じゅうじかで しんでくださって みっかめに
よみがえられ いまも せいれいで ともに おられる
ことを しんじて いのり、 ふかい もくそうを
していました。

2

あるひ ローマの ろうごくに いれられていた
パウロに オネシモが たずねて きました。
パウロは オネシモに イエスさまに ついて
しらせて あげました。 オネシモは イエスさまを
しんじて かわるようになります。

3

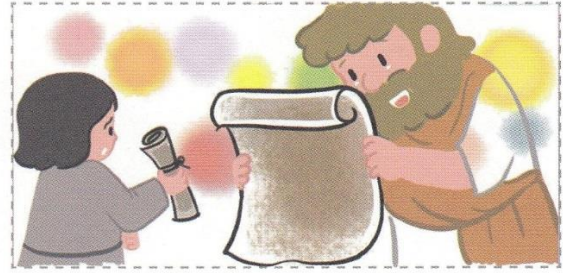
オネシモは それまでに してきた わるいことを
パウロに いいました。 それを きいて パウロは
ピレモンに オネシモの おかした つみを ゆるして
あげてくださいと ところからの おねがいを かいた
てがみを パウロじしんが かいて オネシモに
わたしました

4

ふるえる ところで ピレモンの ところに いった
オネシモは ピレモンに パウロの てがみを
わたしました。てがみを よんだ ピレモンの
ところには すでに ゆるす ところが いっぱいに
なっていました。

5

ピレモンは オネシモを だいて なみだを
ながしました。 それから オネシモと ピレモンは
もう どれいと しゅじんの かんけいでは
なくなりました。 かれらは キリスト・イエスの
なかで どうろうしゃとして での せいかつを
いっしょに するように なりました。



かくしんさがし

★ はーい！
わたしです！ ★

かくしんの ないようを こころに きざみましょう

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。



ただ イエスが キリストであることを
つたえる でんどううんどうを しました。

そうして コロサイの しんとたちは、
ぐうぞうと りっぽうから かいほうされる
せいかつを することが できました。

イエス・キリストにあって、
しんこうの まじわりをする へいあんを
うけて いきたのです。



さがして いろをぬろう



かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

どれいの みぶんから ぬけだしたくて オネシモは しゅじんの ものを
ぬすんで ローマに にげました。 ローマで パウロに であった
オネシモは じぶんの つみを かいけつしてくださった イエスさまを
うけいれて かわりました。 パウロは ピレモンに てがみを かいて
かれを ゆるしてあげてくださいと たのみました。 てがみを よんだ
ピレモンは オネシモを ころから ゆるして うけいれました。
したの えに きれいな いろを ぬって えを かんせいしましょう。



もくようび

じゅんぴするもの | いろをぬる どうぐ



ひょうげんしょう

ひそひそ

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

じゅうじかで わたしの ために しんでくださった イエスさまは わたしが
どんなに おおきな わるいことを しても それを おおって
ゆるしてくださる まことの あいを みせてくださいました。
しずかに めを とじて わたしを あいしてくださっている
イエスさまを もくそうしましょう。そして わたしの こころの
なかが イエスさまの あいで いっぱいになるように しましょう。
わたしの なかに どんな かんがえが うかび どんな こころに なったかを
えか じて ひょうげんしましょう。



ワーク

パッパ
パッパ

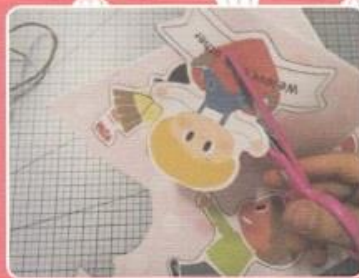
たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

わたしたちは イエスさまを あいしている こども、 かみさまに
あいされている こどもです。 イエスさまの みこころに
したがって おたがいに あいして おはなしを して いつでも
にっこり わらう レムナントです。したの ワークを とおして
いつも なかよく する かわいくて すてきな ともだちに
なりましょう。

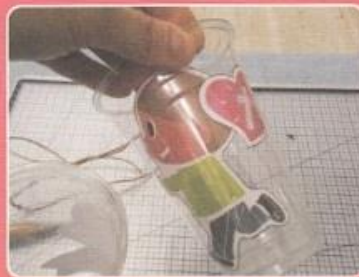


じゅんぴするもの | とうめいなコップ3つ はさみ きり りょうめんテープ いと つぎのページ

たがいに あいしあいましょう



つぎのページの えを すべて きりぬいて えが みえる がわに りょうめんテープで
ハートを はります。



とうめいなコップの なかに えを うえの しゃしんのように いれて はります。



コップの そとから コップの りょうがわに きりで あなを あけた あと
いとを いれて むすびます。

きいろの かみのけの おとこのこが いちばん なかで、 おんなのこが そのつぎ、
そして みどりの ふくを きている おとこのこが いちがん そとがわに くるように
コップを じゅんばんに かさねます。

そとがわの 2つの コップの まわして ふたりが なかの ひとりを だく かたちに しましょう。

